

2019年7月16日

株式会社リクルート住まいカンパニー

『住宅購入・建築検討者』調査（2018年度） ～買い替え需要が増加～ ～一戸建て派が約7割と過去最高、新築と中古の並行検討者が増加～

株式会社リクルート住まいカンパニー（本社：東京都港区 代表取締役社長：浅野 健）は、このたび「『住宅購入・建築検討者』調査」を行いました。この調査は、住宅の購入・建築を検討している人を対象に、検討にあたって、検討する物件の種別、検討にあたって重視する条件などを把握することを目的とした調査です。2018年度の調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

主な調査トピックス

- 過去3カ月以内に住宅購入検討のための行動を行った人の割合は、全体の9.1%と過去最高（→P4）
- 購入検討状況は「新規購入」が61.2%。次いで「買い替え」が29.3%
「買い替え」が前年より6ポイント増加（→P5）
- 複数種別の平行検討が増えており、特に「中古マンション」と「新築分譲マンション」の並行検討率が高い（→P6,8）
- 一戸建て派は69.3%と調査開始以来最高。マンション派は、21.4%で2014年以来減少が続き、過去最低に（→P9）
- 一戸建てメイン検討者は「駅からの距離」よりも「耐震性能」「エコ性能（断熱性・気密性）」を重視する。マンションメイン検討者は、すべての比較項目において一戸建てメイン検討者より「駅からの距離」の優先度が高い（→P11）
- 男性は女性に比べて「駅からの距離」を優先する傾向が強い。中でも「耐震性能」を優先する割合は女性が男性より17ポイントも高い（→P13）
- DIYの認知度は98.4%で4年連続で上昇し過去最高値に。関心度も60%超をキープしている（→P15）
- 住宅ローン控除の内容認知率は64.3%（→P16）
長期優良住宅の内容認知率は53.4%。安心R住宅は32.9%、インスペクション（建物状況調査）は34.7%。リバースモーゲージは41.8%（→P20）
※過去3カ月以内に住宅購入検討のための行動を行った人が対象のため一般より数値が高め

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート住まいカンパニー 経営管理室 カンパニー・コミュニケーショングループ
メール：sumai_press@r.recruit.co.jp 電話：03-6835-5290

■ **調査目的** 住宅の購入・建築、リフォーム検討意向者の意識と行動を把握する

■ **調査対象** 下記条件を満たすマクロミルモニタの20歳～69歳の男女

- ・首都圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）、東海（愛知県、岐阜県、三重県）、
関西（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）、札幌市、仙台市、広島市、福岡市に在住
- ・住宅の購入・建築、リフォームのタイミングだと感じている（持ち家意向がない、もしくは未定の方は除外）
- ・過去3カ月以内に住宅の購入・建築、リフォームについて「具体的に物件を検索した。もしくは建築・リフォーム会社の情報収集をした、している」「資料請求をした」「モデルルームや住宅展示場、モデルハウスを見学した」「不動産会社、建築、リフォーム会社を訪問した」のいずれかの行動をしており、検討に関与している（※契約者は除く）

※グラフに記載された「検討種別」「ライフコース別」の定義は下記の通り

検討種別軸	検討内容（スクリーニング調査）
注文住宅	土地を購入して注文住宅
	所有している土地に注文住宅
	現在の持ち家一戸建ての建て替え（注文住宅）
新築分譲マンション	新築分譲マンションの購入
新築分譲一戸建て	新築分譲一戸建ての購入
中古マンション	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古マンションの購入
中古一戸建て	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古一戸建ての購入

ライフコース別軸	性別	未婚	子ども有無	同居家族
シングル男性	男性	未婚	無し	無し
シングル女性	女性	未婚	無し	無し
夫婦のみ世帯	-	既婚	無し	-
子どもあり世帯（未子小学生まで）	-	既婚	小学校入学前/小学生の子どもがいる	-
子どもあり世帯（未子中学生以上）	-	既婚	中学生以上の子どもがいる	-

■ **調査方法** マクロミル社の調査モニターを用いたインターネットによるアンケート調査

■ **調査時期・回答数**

【2018年】・スクリーニング調査	2018年11月 2日（金）～11月13日（火）	有効回答数：58,866
・本調査	2018年11月 5日（月）～11月13日（火）	有効回答数：1,307
【2017年】・スクリーニング調査	2017年 9月13日（水）～10月27日（金）	有効回答数：69,685
・本調査	2017年10月27日（金）～11月 6日（月）	有効回答数：1,239
【2016年】・スクリーニング調査	2016年 9月13日（火）～ 9月27日（火）	有効回答数：56,203
・本調査	2016年11月11日（金）～11月22日（火）	有効回答数：1,265
【2015年】・スクリーニング調査	2015年 9月 7日（月）～ 9月30日（水）	有効回答数：57,805
・本調査	2015年 9月24日（木）～ 9月30日（水）	有効回答数：1,246
【2014年】・スクリーニング調査	2014年 9月 5日（金）～ 9月24日（水）	有効回答数：87,018
・本調査	2014年 9月19日（金）～ 9月26日（金）	有効回答数：1,328
【2013年】・スクリーニング調査	2013年 9月25日（水）～ 9月27日（金）	有効回答数：86,071
・本調査	2013年 9月28日（土）～ 9月30日（月）	有効回答数：1,350
【2012年】・スクリーニング調査	2012年 9月20日（木）～ 9月24日（月）	有効回答数：114,041
・本調査	2012年 9月20日（木）～ 9月24日（月）	有効回答数：1,681

■ **調査実施機関** 株式会社マクロミル

■ウエイトバック集計について

<ウエイトバック集計の目的>

本調査の回収サンプルの偏りを、実際の住宅購入検討者の年代及び地域別出現率に合わせることを目的とし、ウエイトバック集計を行った。

<ウエイトバック値算出のためのデータソース>

- 1.各年の住宅購入検討者調査のスクリーニング調査の結果
- 2.国勢調査の結果
 - ・2012～2015年調査では、平成22年度国勢調査を使用
 - ・2016～2018年調査では、平成27年度国勢調査を使用

<ウエイトバック値の算出方法>

国勢調査結果から得られた実人口と、本件のスクリーニング調査から得られた住宅購入検討率を掛け合わせ、住宅検討者数を推計した。本調査の分析で使用する地域×年代ごとの構成比を、この住宅検討者数の推計値と一致させた。

<実サンプル数とウエイトバック後サンプル数>

		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
		実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数	実サンプル数	WB後サンプル数
札幌市	20-29歳	28	8,084	23	7,998	27	6,165	13	4,375	22	8,287	6	4,581	19	7,316
	30-39歳	52	13,975	42	13,302	42	11,896	42	10,377	42	10,797	42	9,694	42	9,118
	40-49歳	40	6,132	42	7,801	42	6,610	34	6,644	36	7,081	33	6,934	42	7,676
	50歳以上	28	9,974	39	10,870	37	8,074	29	9,501	31	8,525	42	9,245	30	10,096
	小計	148	38,165	146	39,971	148	32,744	118	30,896	131	34,690	123	30,454	133	34,207
仙台市	20-29歳	17	6,741	17	5,825	14	4,197	7	5,490	9	3,848	8	4,138	16	6,723
	30-39歳	38	9,476	38	7,380	37	6,057	23	6,296	31	7,381	20	4,822	33	6,401
	40-49歳	31	6,380	20	4,338	17	3,065	10	2,185	17	2,908	17	3,540	20	3,943
	50歳以上	15	6,769	17	6,276	15	4,065	16	4,780	14	5,401	17	6,291	23	8,955
	小計	101	29,366	92	23,819	83	17,384	56	18,752	71	19,538	62	18,791	92	26,022
首都圏	20-29歳	155	182,325	103	151,252	103	147,702	103	116,741	103	150,615	103	161,138	103	149,927
	30-39歳	155	288,449	103	225,009	103	224,334	103	203,483	103	254,122	103	277,113	103	236,100
	40-49歳	155	187,716	103	184,713	103	166,410	103	160,580	103	199,961	103	206,727	103	233,168
	50歳以上	149	243,283	93	242,847	96	228,413	93	200,525	94	240,578	97	226,688	94	244,291
	小計	614	901,772	402	803,821	405	766,859	402	681,330	403	845,276	406	871,666	403	863,486
東海	20-29歳	52	84,100	42	46,478	42	47,026	42	64,570	42	59,343	42	62,800	42	62,450
	30-39歳	52	113,212	42	74,845	42	74,892	42	67,124	42	72,979	42	75,403	42	76,985
	40-49歳	52	57,495	39	48,017	42	39,394	42	37,364	42	43,723	42	33,994	42	38,876
	50歳以上	49	64,397	42	60,453	42	52,948	41	49,956	41	63,859	40	56,878	36	57,735
	小計	205	319,204	165	229,792	168	214,260	167	219,014	167	239,904	166	229,075	162	236,046
関西	20-29歳	103	103,374	83	101,119	83	80,515	83	102,637	83	99,611	83	85,911	83	98,625
	30-39歳	103	167,832	83	132,769	83	126,323	83	123,200	83	130,777	83	131,989	83	133,793
	40-49歳	103	84,996	83	89,268	83	85,419	83	86,767	83	96,192	83	114,133	83	125,751
	50歳以上	98	158,357	77	136,318	80	127,792	82	122,879	76	117,558	78	120,623	81	145,784
	小計	407	514,559	326	459,474	329	420,050	331	435,483	325	444,137	327	452,656	330	503,953
広島市	20-29歳	16	6,357	16	6,441	10	3,956	10	4,228	10	6,345	11	6,576	11	4,901
	30-39歳	31	9,542	34	7,558	26	5,788	29	7,094	25	6,709	27	7,635	40	7,899
	40-49歳	27	5,338	26	4,441	25	5,119	17	4,936	18	4,799	10	3,803	16	4,209
	50歳以上	13	6,522	19	7,316	11	5,198	11	6,808	13	6,470	17	6,141	9	4,376
	小計	87	27,760	95	25,755	72	20,061	67	23,067	66	24,323	65	24,155	76	21,386
福岡市	20-29歳	19	7,094	13	6,469	16	5,175	17	6,278	10	5,261	9	3,816	14	5,877
	30-39歳	52	13,392	42	10,538	42	9,705	37	8,332	29	7,718	20	6,979	42	9,126
	40-49歳	29	7,338	38	7,578	37	6,445	39	8,314	40	9,436	39	8,942	38	8,799
	50歳以上	19	9,044	31	10,440	28	7,855	12	5,664	23	11,515	22	8,242	17	7,609
	小計	119	36,868	124	35,026	123	29,180	105	28,589	102	33,930	90	27,980	111	31,411
全体	1,681	1,867,693	1,350	1,617,660	1,328	1,500,538	1,246	1,437,130	1,265	1,641,798	1,239	1,654,777	1,307	1,716,511	

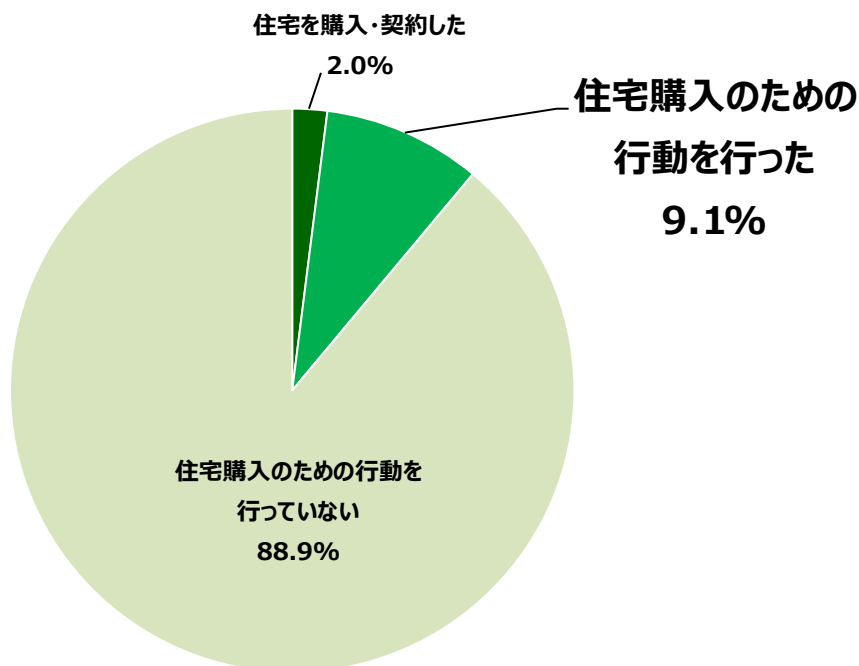
「調査結果を見る際の注意点」

* %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値が「全体合計(100%)」や「小計」と一致しない場合がある

- 過去3カ月以内に住宅購入検討のための行動を行った人の割合は、全体の9.1%。過去4年で最も高い数値となった

■住宅購入検討のための行動実施状況（スクリーニング調査・全体／複数回答）

実サンプル数：58,866



■住宅購入検討のための行動実施状況（スクリーニング調査・エリア別／複数回答）（単位：%）

実サンプル数		住宅を購入・契約した	住宅購入のための行動を行った	住宅購入のための行動を行っていない	
2018年 全体	58,866	2.0	9.1	88.9	
2017年 全体	69,685	1.7	8.2	90.0	
2016年 全体	56,203	1.7	8.4	89.9	
2015年 全体	57,805	1.8	8.3	89.9	
エリア別	札幌市	7,493	1.5	7.3	91.2
	仙台市	2,903	1.7	9.1	89.2
	首都圏	14,323	1.8	9.4	88.8
	東海	12,172	2.5	8.9	88.5
	関西	15,067	2.2	9.7	88.0
	広島市	2,740	1.6	9.5	88.9
	福岡市	4,168	1.6	8.7	89.6

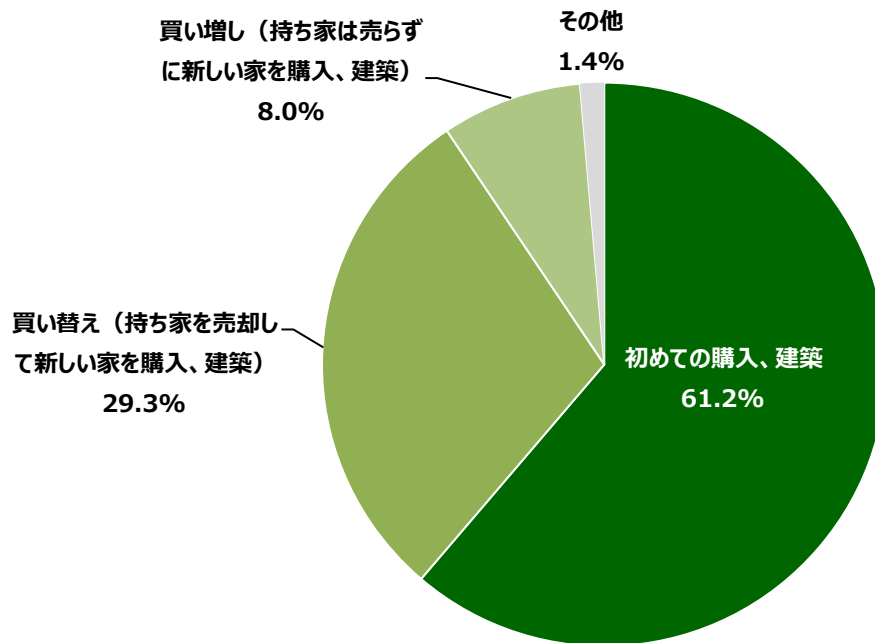
※住宅購入検討のための行動とは、「具体的に物件を検索した。もしくは建築・リフォーム会社の情報収集をした、している」「資料請求をした」「モデルルームや住宅展示場、モデルハウスを見学した」「不動産会社、建築、リフォーム会社を訪問した」のいずれかの行動

2.購入検討状況の割合

- 購入検討状況をみると、「新規購入」が61.2%。ついで「買い替え」が29.3%
- 2018年は「買い替え」が6ポイント増加した

■購入検討状況（全体／単一回答）

WB後サンプル数：1,716,511（実サンプル数：1,307）



■購入検討状況（エリア別／単一回答）

		WB後サンプル数	実サンプル数	初めての購入、建築	買い替え (持ち家を売却して新しい家を購入、建築)	買い増し (持ち家は売らずに新しい家を購入、建築)	その他
2018年 全体		1,716,511	(1,307)	61.2	29.3	8.0	1.4
2017年 全体		1,654,777	(1,239)	64.8	23.2	12.0	*
エリア別	札幌市	34,207	(133)	59.8	33.7	4.0	2.5
	仙台市	26,022	(92)	72.2	21.1	5.3	1.5
	首都圏	863,486	(403)	60.3	28.9	8.8	2.0
	東海	236,046	(162)	69.1	26.0	4.2	0.7
	関西	503,953	(330)	58.0	32.6	8.7	0.7
	広島市	21,386	(76)	67.0	23.2	9.8	-
	福岡市	31,411	(111)	69.3	20.8	10.0	- (%)

※以下、調査年度による設問内容の変更

* 非聴取項目

※数表内の凡例

18年全体よりも
5pt以上高い

18年全体よりも
5pt以上低い

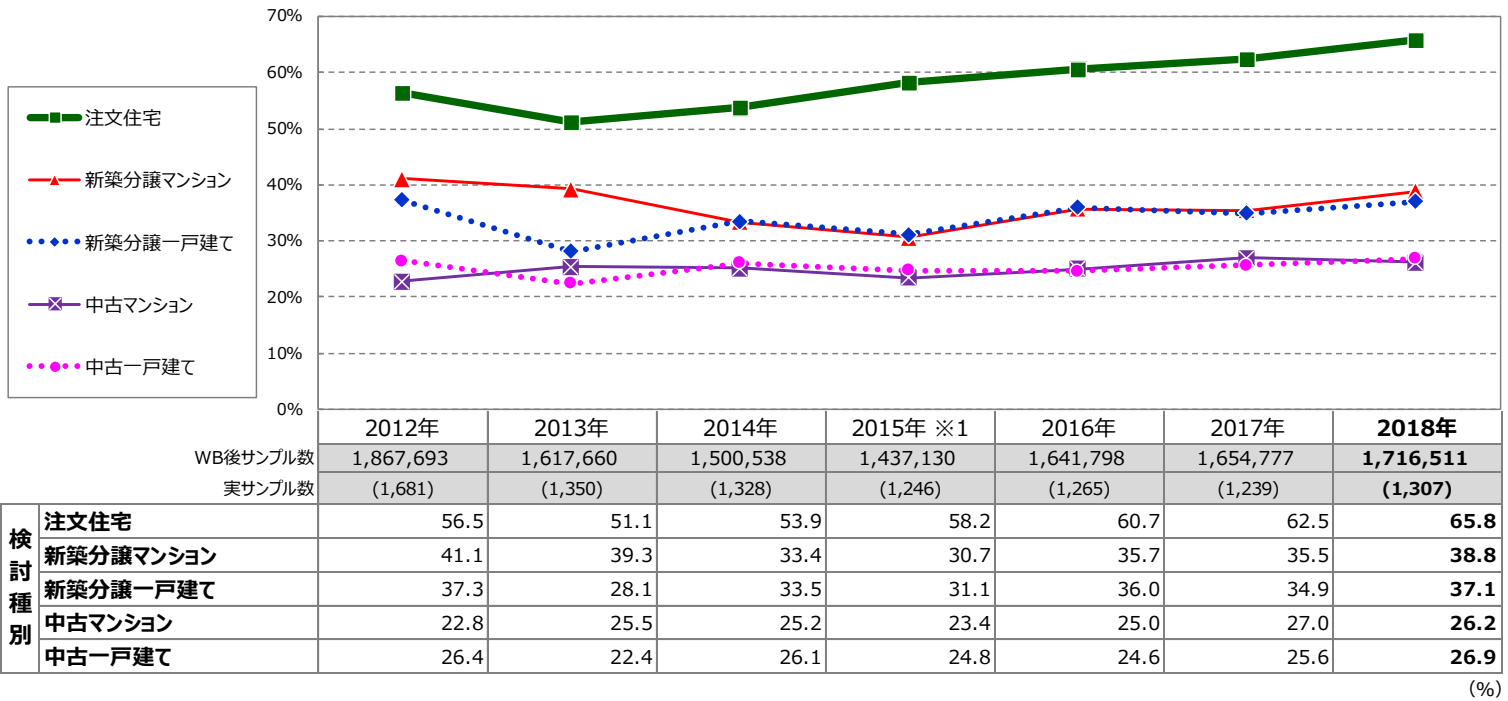
設問	2018年	2017年
設問文	今回購入や建築をする場合、以下のどれにあてはまりますか。 ※配偶者の所有している物件もあなたご自身の持ち家としてお考えください。	新しい住み替え先は、新しく購入されますか。もしくは現在の持ち家からの買い増し、買い替えになりますか。 ※配偶者の所有している物件もあなたご自身の持ち家としてお考えください。
項目1	初めての購入、建築	現在、賃貸住宅を契約して住んでおり、新しく住宅の購入を検討している 現在、親・親族所有の住宅に住んでおり（賃貸住宅を自身で契約していない）、新しく住宅の購入を検討している
項目2	買い替え（持ち家を売却して新しい家を購入、建築）	現在持ち家に住んでおり、住宅の『買い替え』を検討している（現在の持家は売却する）
項目3	買い増し（持ち家は売らずに新しい家を購入、建築）	現在持ち家に住んでおり、住宅の『買い増し』を検討している（現在の持家は売却しない）
項目4	その他 ※初めての購入ではなく、購入経験はあるがその後賃貸などの住居に住み、再度購入する人などが存在するため2018年から新設	非聴取

- 検討種別は「注文住宅」が65.8%でトップ。2014年から上昇し続けている（※）
- 2018年は中古マンション以外では昨年より検討比率が高まり、複数種別検討が増えている

※住宅着工統計（国土交通省）では注文建築は横ばい、建売住宅は増加の傾向だが、検討時点では注文建築希望が高い

■ 検討種別の割合（全体／複数回答）

※1・・・2015年は本調査に本質問を設定しなかったため、スクリーニング調査データを掲載



- 検討種別は「その他」を除いて12項目で質問しておりそれらを右記6種別に集計している。そのうち、「持ち家リフォーム」を除く5種別を掲載（※2015年調査はスクリーニング調査のため「具体的には検討していない」も除いている）

注文住宅	土地を購入して注文住宅
	所有している土地に注文住宅
	現在の持ち家一戸建ての建て替え（注文住宅）
新築分譲マンション	新築分譲マンションの購入
新築分譲一戸建て	新築分譲一戸建ての購入
中古マンション	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古マンションの購入
中古一戸建て	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古一戸建ての購入
持ち家リフォーム	現在の持ち家住宅の大規模リフォーム

4.検討種別の割合【エリア別】

- 福岡市がマンション系（新築、中古）の希望比率が高い
- 東海は注文住宅の希望比率が高い

■検討種別の割合（全体／複数回答）＜エリア別比較＞

＜2018年＞				検討種別（複数回答）				
		WB後 サンプル数	実サンプル数	注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
2018年 全体		1,716,511	(1,307)	65.8	38.8	37.1	26.2	26.9
エリア別	札幌市	34,207	(133)	57.2	33.9	26.8	33.1	33.6
	仙台市	26,022	(92)	64.2	43.0	43.8	28.8	26.7
	首都圏	863,486	(403)	60.4	44.1	38.1	28.9	26.4
	東海	236,046	(162)	79.8	23.2	32.6	14.1	22.3
	関西	503,953	(330)	69.7	36.9	36.9	25.9	29.2
	広島市	21,386	(76)	69.9	37.6	47.3	31.1	28.5
	福岡市	31,411	(111)	54.6	46.4	43.9	34.0	29.3

(%)

＜2017年＞				検討種別（複数回答）				
		WB後 サンプル数	実サンプル数	注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
2017年 全体		1,654,777	(1,239)	62.5	35.5	34.9	27.0	25.6
エリア別	札幌市	30,454	(123)	53.7	28.0	19.8	30.6	28.2
	仙台市	18,791	(62)	61.4	25.4	30.3	31.2	26.0
	首都圏	871,666	(406)	57.6	40.9	34.6	29.9	27.2
	東海	229,075	(166)	72.4	19.6	33.0	15.3	22.3
	関西	452,656	(327)	68.6	33.2	38.1	26.4	23.7
	広島市	24,155	(65)	54.1	37.0	25.0	25.0	21.3
	福岡市	27,980	(90)	52.5	51.2	39.6	33.8	35.3

(%)

＜2018年-2017年の差分のポイント＞				検討種別（複数回答）				
		WB後 サンプル数	実サンプル数	注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
2018年 - 2017年		-	-	3.3	3.3	2.2	-0.8	1.3
エリア別	札幌市	-	-	3.6	5.9	7.0	2.5	5.4
	仙台市	-	-	2.8	17.6	13.6	-2.4	0.7
	首都圏	-	-	2.9	3.2	3.6	-1.1	-0.8
	東海	-	-	7.4	3.6	-0.4	-1.2	-
	関西	-	-	1.0	3.7	-1.2	-0.5	5.5
	広島市	-	-	15.8	0.5	22.3	6.1	7.2
	福岡市	-	-	2.1	-4.9	4.4	0.2	-5.9

(pt)

- ・ 検討種別は「その他」を除いて12項目で質問しておりそれらを右記6種別に集計している。そのうち、「持ち家リフォーム」を除く5種別を掲載

注文住宅	土地を購入して注文住宅 所有している土地に注文住宅 現在の持ち家一戸建ての建て替え（注文住宅）
新築分譲マンション	新築分譲マンションの購入
新築分譲一戸建て	新築分譲一戸建ての購入
中古マンション	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古マンションの購入
中古一戸建て	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古一戸建ての購入
持ち家リフォーム	現在の持ち家住宅の大規模リフォーム

5. 並行検討状況

- マンションの「新築」と「中古」との並行検討者が多い（「中古」メインの「新築」並行検討率は51.1%、「新築」メインの「中古」を並行検討率は44.1%）
- 「新築分譲一戸建て」メイン検討者は「注文住宅」「新築分譲マンション」「中古一戸建て」と多種別にわたって平行検討している
- 「注文住宅」検討者は並行検討率が低め

■メイン検討種別ごとの並行検討状況（全体／複数回答）

<2018年>

		WB後 サンプル数 実サンプル数		検討種別（複数回答） □				
				注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
メイン 検討種別 (単一回答)	注文住宅	780,011	(603)	100.0	19.8	26.1	8.0	14.7
	新築分譲マンション	285,740	(203)	33.2	100.0	26.0	44.1	15.4
	新築分譲一戸建て	262,574	(194)	47.7	41.5	100.0	20.1	35.9
	中古マンション	139,872	(120)	16.9	51.1	20.8	100.0	30.3
	中古一戸建て	135,383	(105)	21.8	13.9	36.1	33.3	100.0

(%)

<2017年>

		WB後 サンプル数 実サンプル数		検討種別（複数回答） □				
				注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
メイン 検討種別 (単一回答)	注文住宅	761,105	(558)	100.0	16.3	26.1	9.5	14.6
	新築分譲マンション	262,831	(189)	21.5	100.0	24.8	42.4	13.1
	新築分譲一戸建て	236,230	(175)	48.3	39.5	100.0	18.9	29.9
	中古マンション	160,005	(133)	12.1	37.8	5.9	100.0	21.9
	中古一戸建て	158,205	(127)	34.8	20.0	35.9	29.1	100.0

(%)

<2018年-2017年の差分のポイント>

		WB後 サンプル数 実サンプル数		検討種別（複数回答） □				
				注文住宅	新築分譲マンション	新築分譲一戸建て	中古マンション	中古一戸建て
メイン 検討種別 (単一回答)	注文住宅	-	-	-	-3.6	-0.0	-1.5	-0.1
	新築分譲マンション	-	-	11.7	-	1.2	1.7	2.3
	新築分譲一戸建て	-	-	-0.6	-2.1	-	-1.2	-6.0
	中古マンション	-	-	-4.8	13.3	14.9	-	8.4
	中古一戸建て	-	-	-13.0	-6.2	0.2	-4.2	-

(pt)

- ・ 検討種別は「その他」を除いて12項目で質問しておりそれらを右記6種別に集計している。そのうち、「持ち家リフォーム」を除く5種別を掲載（※2015年調査はスクリーニング調査のため「具体的には検討していない」も除いている）

注文住宅	土地を購入して注文住宅
	所有している土地に注文住宅
新築分譲マンション	現在の持ち家一戸建ての建て替え（注文住宅）
	新築分譲マンションの購入
新築分譲一戸建て	新築分譲一戸建ての購入
	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをする）
中古マンション	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
	リフォーム済み中古マンションの購入
中古一戸建て	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
持ち家リフォーム	リフォーム済み中古一戸建ての購入
	現在の持ち家住宅の大規模リフォーム

- 「一戸建て派」は69.3%と調査開始以来最高。「マンション派」は21.4%で過去最低に
- エリア別で見ると「一戸建て派」は東海で多く、「マンション派」は福岡が多い

■一戸建て・マンション意向（全体／単一回答）

				(単位：%)							
				一戸建て派			マンション派		一戸建て	マンション	
		WB後	実サンプル数	ぜったい一戸建て	どちらかといえば一戸建て	どちらでもよい	どちらかといえばマンション	ぜったいマンション	派・計	派・計	
		サンプル数									
18年 全体		1,716,511	(1,307)	28.5	40.8		9.3	16.0	5.4	69.3%	21.4%
17年 全体		1,654,777	(1,239)	27.3	38.8		12.1	16.0	5.8	66.2%	21.7%
16年 全体		1,641,798	(1,265)	26.0	37.8		13.4	16.3	6.5	63.8%	22.8%
15年 全体		1,437,130	(1,246)	26.3	38.2		12.2	17.5	5.7	64.6%	23.2%
14年 全体		1,500,538	(1,328)	27.8	36.1		11.4	17.5	7.1	63.9%	24.7%
13年 全体		1,617,660	(1,350)	25.4	32.6		12.7	20.9	8.4	58.0%	29.3%
12年 全体		1,867,693	(1,681)	30.1	33.8		11.1	17.8	7.2	63.8%	25.0%
検討種別	注文住宅	983,512	(747)	38.1	45.6		8.1	7.7	0.5	83.7%	8.3%
	新築分譲マンション	501,670	(370)	3.9	34.0	13.9	35.4	12.8		37.9%	48.2%
	新築分譲一戸建て	518,628	(399)	22.3	55.0		10.2	11.7	0.7	77.4%	12.4%
	中古マンション	353,009	(289)	6.1	28.8	18.3	36.7	10.1		34.9%	46.8%
	中古一戸建て	437,324	(333)	24.7	49.4		11.5	13.3	1.1	74.1%	14.4%
エリア別	札幌市	34,207	(133)	22.7	40.3	9.0	19.7	8.2		63.0%	28.0%
	仙台市	26,022	(92)	38.3	32.0		14.6	9.1	6.0	70.3%	15.1%
	首都圏	863,486	(403)	23.8	41.5	9.2	18.7	6.8		65.3%	25.5%
	東海	236,046	(162)	44.2	40.1		4.7	9.3	1.6	84.4%	10.9%
	関西	503,953	(330)	29.5	40.8		11.0	14.2	4.5	70.3%	18.7%
	広島市	21,386	(76)	27.3	40.7		13.4	14.2	4.4	68.0%	18.6%
	福岡市	31,411	(111)	23.7	32.3	11.4	22.7	9.9		56.0%	32.6%
	世帯年収別	～400万円未満	213,873	(157)	27.6	37.1	12.4	14.1	8.8		64.7%
400～600万円未満	306,503	(263)	29.1	39.8	10.6	17.8	2.7		68.9%	20.5%	
600～800万円未満	361,654	(280)	26.0	43.9	8.8	15.4	5.9		69.9%	21.3%	
800～1000万円未満	323,436	(235)	32.7	37.4	5.5	20.0	4.4		70.2%	24.3%	
1000万円以上	506,507	(367)	27.7	42.8	9.9	13.7	6.0		70.5%	19.6%	
ライフステージ別	シングル男性世帯	141,369	(90)	15.4	34.0	17.5	24.8	8.4		49.4%	33.1%
	シングル女性世帯	46,443	(40)	11.1	33.5	7.5	28.1	19.7		44.6%	47.8%
	夫婦のみ世帯	290,884	(227)	26.5	41.3	6.5	18.5	7.1		67.9%	25.6%
	子どもあり世帯(末子小学生まで)	636,670	(540)	33.8	45.7	8.4	10.3	1.8		79.5%	12.1%
	子どもあり世帯(末子中学生以上)	350,741	(230)	33.7	29.4	10.9	18.5	7.4		63.1%	26.0%
年代別	20代	335,820	(288)	36.2	46.8		6.6	8.2	2.3	83.0%	10.5%
	30代	479,422	(385)	29.1	43.6	6.6	17.1	3.6		72.7%	20.7%
	40代	422,422	(344)	20.9	43.3	12.2	18.5	5.0		64.2%	23.5%
	50代	316,523	(195)	25.9	35.8	12.6	17.9	7.9		61.7%	25.7%
	60代	162,324	(95)	35.9	22.9	8.9	18.6	13.6		58.9%	32.3%

- 「新築派」が79.4%、「中古派」が7.3%。経年による比率変化は大きくない
- エリア別で見ると、東海が「新築派」が多く、札幌が「中古派」が多い

■新築・中古意向（全体／単一回答）

	WB後 サンプル数	実サンプル数	(単位：%)					新築派 ・計	中古派 ・計		
			新築派		どちらでもよい	中古派					
			ぜったい新築	どちらかといえば 新築		どちらかといえば 中古	ぜったい中古				
18年 全体	1,716,511	(1,307)	36.1	43.3		13.4	6.0	1.3	79.3%	7.3%	
17年 全体	1,654,777	(1,239)	32.5	43.8		17.3	5.5	1.0	76.3%	6.4%	
16年 全体	1,641,798	(1,265)	27.9	48.9		16.0	6.4	0.9	76.7%	7.3%	
15年 全体	1,437,130	(1,246)	29.3	49.9		14.5	5.6	0.7	79.2%	6.3%	
14年 全体	1,500,538	(1,328)	30.0	44.6		16.9	6.4	2.1	74.6%	8.5%	
13年 全体	1,617,660	(1,350)	29.7	42.4		18.5	7.5	1.9	72.1%	9.4%	
12年 全体	1,867,693	(1,681)	30.1	49.5		14.3	4.8	1.3	79.7%	6.1%	
検討 種別	注文住宅	983,512	(747)	46.2	43.8		7.8	1.9	0.2	90.0%	2.2%
	新築分譲マンション	501,670	(370)	28.3	54.5		12.8	4.4	0.1	82.8%	4.4%
	新築分譲一戸建て	518,628	(399)	31.9	54.5		12.1	1.5	-	86.5%	1.5%
	中古マンション	353,009	(289)	9.7	44.8		25.0	16.6	3.9	54.5%	20.5%
	中古一戸建て	437,324	(333)	13.1	44.0		25.7	13.5	3.6	57.1%	17.2%
エ リ ア 別	札幌市	34,207	(133)	25.5	43.4		15.4	14.1	1.6	68.9%	15.8%
	仙台市	26,022	(92)	39.1	42.0		12.8	6.0	-	81.1%	6.0%
	首都圏	863,486	(403)	34.5	44.0		14.3	6.0	1.1	78.5%	7.2%
	東海	236,046	(162)	45.2	42.6		7.3	3.3	1.6	87.8%	4.9%
	関西	503,953	(330)	35.4	42.3		14.1	6.8	1.3	77.7%	8.1%
	広島市	21,386	(76)	41.2	34.4		17.9	4.3	2.3	75.5%	6.6%
	福岡市	31,411	(111)	26.0	51.0		16.3	4.4	2.2	77.1%	6.6%
世 帯 年 取 別	～400万円未満	213,873	(157)	29.7	38.9		19.7	10.5	1.2	68.7%	11.6%
	400～600万円未満	306,503	(263)	28.1	49.6		13.4	5.7	3.1	77.7%	8.9%
	600～800万円未満	361,654	(280)	40.8	40.0		9.3	9.0	0.9	80.8%	9.9%
	800～1000万円未満	323,436	(235)	41.3	42.6		10.9	4.0	1.2	83.9%	5.2%
	1000万円以上	506,507	(367)	36.9	44.2		14.9	3.5	0.5	81.1%	4.0%
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	シングル男性世帯	141,369	(90)	19.9	41.5		25.6	13.1	-	61.3%	13.1%
	シングル女性世帯	46,443	(40)	33.1	49.1		9.4	7.9	0.5	82.2%	8.4%
	夫婦のみ世帯	290,884	(227)	31.6	44.4		16.4	6.3	1.3	76.0%	7.6%
	子どもあり世帯(末子小学生まで)	636,670	(540)	38.7	47.8		9.6	3.4	0.6	86.5%	3.9%
	子どもあり世帯(末子中学生以上)	350,741	(230)	46.1	31.0		13.9	6.8	2.2	77.1%	9.0%
年 代 別	20代	335,820	(288)	39.7	46.5		11.2	2.6	-	86.2%	2.6%
	30代	479,422	(385)	35.5	47.6		9.8	6.3	0.9	83.1%	7.2%
	40代	422,422	(344)	26.0	48.9		15.9	7.3	1.9	74.9%	9.1%
	50代	316,523	(195)	44.7	31.5		15.8	6.5	1.5	76.2%	8.0%
	60代	162,324	(95)	39.7	32.1		17.1	8.2	2.9	71.8%	11.1%

- 一戸建てメイン検討者が「駅からの距離」より優先するのは「耐震性能」「エコ性能（断熱性・気密性）」
- マンションメイン検討者が「駅からの距離」より優先するのは「耐震性能」のみ
- マンションメイン検討者は、一戸建てメイン検討者よりすべての項目で「駅からの距離」を優先している

■ 住み替え時に優先する特徴【VS駅からの距離】（メイン検討種別／単一回答）



※条件B項目の並び順は、差分【一戸建て】-【マンション】の「条件B」の降順ソート

- メインで購入を検討している物件（単一回答）について、検討種別は「その他」を除いて12項目で質問しており、それらを右記6種別に集計している
- 一戸建てメイン検討とは、メインで購入を検討している物件について「注文住宅」「新築分譲一戸建て」「中古一戸建て」のいずれかの回答者
- マンションメイン検討とは、メインで購入を検討している物件について「新築分譲マンション」「中古マンション」のいずれかの回答者

一戸建て メイン 検討	注文住宅	土地を購入して注文住宅
		新築分譲一戸建て
マンション メイン 検討	中古マンション	新築分譲マンションの購入
		リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
		リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
		リフォーム済み中古一戸建ての購入
	持ち家リフォーム	現在の持ち家住宅の大規模リフォーム

- 新築メイン検討者と中古メイン検討者で比較すると、「エコ性能（断熱性・気密性）」が新築メイン検討者の優先度が高い

■ 住み替え時に優先する特徴【VS駅からの距離】（メイン検討種別／単一回答）



※条件B項目の並び順は、差分【新築】-【中古】の「条件B」の降順ソート

- ・ メインで購入を検討している物件（単一回答）について、検討種別は「その他」を除いて12項目で質問しており、それらを右記6種別に集計している
- ・ 新築メイン検討とは、メインで購入を検討している物件について「注文住宅」「新築分譲マンション」「新築分譲一戸建て」のいずれかの回答者
- ・ 中古メイン検討とは、メインで購入を検討している物件について「中古マンション」「中古一戸建て」のいずれかの回答者

新築 メイン 検討	注文住宅	土地を購入して注文住宅
		所有している土地に注文住宅
		現在の持ち家一戸建ての建て替え（注文住宅）
新築分譲一戸建て	新築分譲マンション	新築分譲一戸建ての購入
		新築分譲マンションの購入
中古 メイン 検討	中古一戸建て	リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをする）
		リフォームしていない中古一戸建ての購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
		リフォーム済み中古一戸建ての購入
	中古マンション	リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをする）
		リフォームしていない中古マンションの購入（購入直後に大規模リフォームをしない）
持ち家リフォーム	リフォーム済み中古マンションの購入	
		現在の持ち家住宅の大規模リフォーム

- 親との同居意向は、昨年より4.6ポイント減少している
- 親との同居意向は男性（夫）が13.0%、女性（妻）が9.7%と男性が高い傾向
- 地域別で見ると、東海エリアは同居意向が低く、近居意向が高い

■親との同居・近居意向

（既婚かつ自分の親または義理の親がいる人／マトリクス形式質問の合成による単一回答）

（単位：％）

		WB後 サンプル数	実サンプル数	同居意向あり	近居意向あり	日帰り圏内の 居住意向あり	それ以外
18年 全体		1,207,744	(952)	11.4	44.8	17.2	26.6
17年 全体		1,151,729	(868)	16.0	45.2	15.3	23.5
性別	男性（夫）	626,650	(446)	13.0	44.4	17.3	25.3
	女性（妻）	581,094	(506)	9.7	45.2	17.2	27.9
検討種別	注文住宅	713,280	(560)	14.5	48.0	15.3	22.2
	新築分譲マンション	308,472	(235)	14.7	40.1	22.2	23.0
	新築分譲一戸建て	369,173	(297)	9.1	44.6	17.6	28.7
	中古マンション	215,366	(187)	10.9	43.2	19.0	26.8
	中古一戸建て	283,903	(228)	14.0	42.2	21.2	22.6
エリア別	札幌市	27,037	(104)	10.9	54.0	13.5	21.6
	仙台市	19,665	(72)	10.2	42.5	18.1	29.1
	首都圏	559,916	(262)	9.6	42.1	16.1	32.2
	東海	184,966	(125)	5.7	55.9	14.9	23.5
	関西	376,877	(248)	16.9	42.6	20.2	20.3
	広島市	16,520	(58)	13.9	41.5	19.4	25.2
	福岡市	22,763	(83)	9.7	51.4	16.2	22.7
	世帯年収別	～400万円未満	66,262	(52)	12.3	47.7	23.9
400～600万円未満	172,173	(158)	5.1	48.2	15.3	31.4	
600～800万円未満	266,741	(220)	11.4	43.3	19.3	26.1	
800～1000万円未満	258,013	(197)	12.5	51.3	17.0	19.2	
1000万円以上	440,016	(320)	12.4	40.7	16.0	30.9	
ライフ別	夫婦のみ世帯	280,960	(218)	11.3	44.1	16.0	28.6
	子どもあり世帯(末子小学生まで)	625,185	(532)	10.6	48.2	19.4	21.7
	子どもあり世帯(末子中学生以上)	301,598	(202)	13.0	38.4	13.8	34.7
年代別	20代	245,507	(214)	8.5	52.5	19.9	19.1
	30代	375,457	(307)	8.8	49.8	16.4	25.0
	40代	281,298	(241)	12.7	39.3	19.0	28.9
	50代	216,977	(134)	16.0	39.7	17.3	27.0
	60代	88,504	(56)	14.6	32.3	7.4	45.7

【同居・近居意向の定義について】

- ①質問の回答者は、自身もしくは配偶者の親が少なくとも1人以上存命していることを把握している人
- ②同居・近居意向は8項目で質問しており、それらを下記の4区分に集計した
 - ・同居意向あり…「同居したい（二世帯住宅含む）」を回答
 - ・近居意向あり…「同じ敷地内や同じマンションの別住戸に住みたい」「日常的に行き来できる距離に住みたい」を回答
 - ・日帰り圏内の距離での居住意向あり…「週末には日帰りで行き来できる距離に住みたい」を回答
 - ・それ以外…「無理に近くに住む必要はない」「親の近くには住みたくない」「その他」「わからない」を回答
- ③複数の親がいる場合は、②の4区分について、「同居意向あり」>「近居意向あり」>「日帰り圏内の距離での居住意向あり」>「それ以外」の順で、より同居意向の高い方を優先し割り振った

- DIYの認知度は98.3%で4年連続で上昇し過去最高値に。関心度も60%超をキープしている
- ライフステージ別で見ると、シングル男性がDIYへの関心度が高い
- 年代別で見ると、30代がDIYへの関心度が高い

■ DIY認知度・関心度（全体／単一回答）

				(単位：%)				認知・計
		WB後 サンプル数	実サンプル数	「DIY」という言葉も 内容も知っていて、 関心がある	「DIY」という言葉も 内容も知っているが、 関心はない	「DIY」という言葉は 聞いたことがあるが、 内容は知らない	「DIY」という言葉を 聞いたことはない	
18年	全体	1,716,511	(1,307)	63.3	28.7	6.3	1.7	98.3%
17年	全体	1,654,777	(1,239)	63.5	27.4	6.8	2.2	97.8%
16年	全体	1,641,798	(1,265)	55.1	30.0	11.4	3.5	96.5%
15年	全体	1,437,130	(1,246)	54.3	27.9	12.4	5.4	94.6%
14年	全体	1,500,538	(1,328)	52.4	25.3	13.0	9.3	90.7%
検討 種別	注文住宅	983,512	(747)	65.1	27.2	6.1	1.6	98.4%
	新築分譲マンション	501,670	(370)	64.6	30.4	4.2	0.8	99.2%
	新築分譲一戸建て	518,628	(399)	66.7	27.4	4.8	1.1	98.9%
	中古マンション	353,009	(289)	71.5	23.9	3.6	1.0	99.0%
	中古一戸建て	437,324	(333)	71.9	22.2	4.9	1.0	99.0%
エリア 別	札幌市	34,207	(133)	58.6	31.8	9.0	0.6	99.4%
	仙台市	26,022	(92)	53.9	37.0	9.1	-	100.0%
	首都圏	863,486	(403)	61.2	31.3	5.5	2.0	98.0%
	東海	236,046	(162)	63.2	27.5	7.9	1.4	98.6%
	関西	503,953	(330)	68.1	23.5	6.7	1.7	98.3%
	広島市	21,386	(76)	53.2	41.9	4.0	0.9	99.1%
	福岡市	31,411	(111)	62.8	30.1	5.6	1.4	98.6%
世帯 年取 別	～400万円未満	213,873	(157)	65.2	27.8	6.7	0.2	99.8%
	400～600万円未満	306,503	(263)	60.6	28.6	6.1	4.7	95.3%
	600～800万円未満	361,654	(280)	67.8	25.2	6.4	0.6	99.4%
	800～1000万円未満	323,436	(235)	67.4	24.7	5.9	2.1	97.9%
	1000万円以上	506,507	(367)	58.4	34.2	6.2	1.2	98.8%
ライフ ステ ージ 別	シングル男性世帯	141,369	(90)	71.9	21.9	1.7	4.5	95.5%
	シングル女性世帯	46,443	(40)	67.0	29.5	3.5	-	100.0%
	夫婦のみ世帯	290,884	(227)	53.2	36.5	9.0	1.3	98.7%
	子どもあり世帯(末子小学生まで)	636,670	(540)	63.0	28.5	6.5	2.1	97.9%
	子どもあり世帯(末子中学生以上)	350,741	(230)	62.5	29.5	6.6	1.4	98.6%
年代 別	20代	335,820	(288)	61.6	30.4	6.0	1.9	98.1%
	30代	479,422	(385)	67.6	24.7	5.8	1.9	98.1%
	40代	422,422	(344)	65.1	26.5	7.2	1.1	98.9%
	50代	316,523	(195)	59.5	32.0	7.9	0.6	99.4%
	60代	162,324	(95)	56.4	36.0	2.9	4.7	95.3%

※「認知・計」は「『DIY』という言葉も内容も知っていて、関心がある」+「『DIY』という言葉も内容も知っているが、関心はない」+「『DIY』という言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」

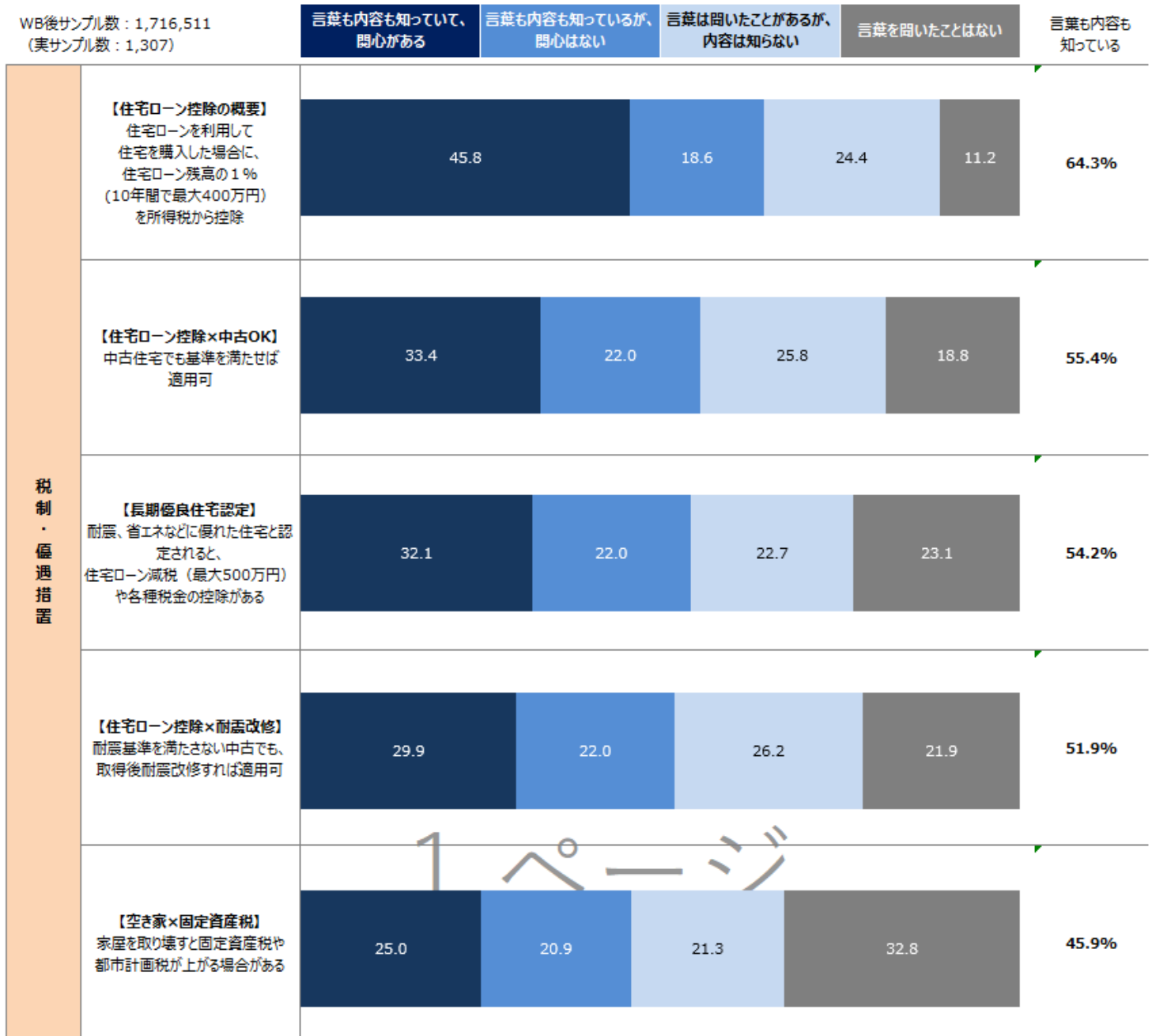
- 住宅ローン控除の概要の内容認知率は64.3%。関心度は45.8%と他と比べて高い

■ 住宅購入に関する税制・優遇措置についての認知・関心状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

※「言葉も内容も知っている、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」のスコア降順にてソート

（単位：％）

WB後サンプル数：1,716,511
（実サンプル数：1,307）



※「言葉も内容も知っている」は「言葉も内容も知っている、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」の計

<参考> 住宅購入に関する税制・優遇措置についての認知・理解状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

※経年での比較が可能な2014年～2017年データを掲載

※前頁の2018年スコアの降順ソートで掲載

				(単位：%)				よく理解している + まあ理解している	
		WEB後 サンプル	実サンプル数	よく理解している	まあ理解している	聞いたことはある	知らない		
税制・優遇措置	【住宅ローン控除の概要】 住宅ローンを利用して住宅を購入した場合に、住宅ローン残高の1%（10年間で最大400万円）を所得税から控除 ※1	2017年	1,654,777	(1,239)	19.9	37.3	29.6	13.2	57.2%
		2016年	1,641,798	(1,265)	16.4	34.8	26.6	22.2	51.2%
		2015年	1,437,130	(1,246)	14.0	30.7	26.8	28.6	44.6%
		2014年	1,500,538	(1,328)	13.2	27.5	31.8	27.5	40.7%
	【住宅ローン控除×中古OK】 中古住宅でも基準を満たせば適用可	2017年	1,654,777	(1,239)	15.0	35.1	27.1	22.8	50.1%
		2016年	1,641,798	(1,265)	12.6	28.7	26.1	32.6	41.3%
		2015年	1,437,130	(1,246)	11.0	23.9	26.1	39.0	34.9%
		2014年	1,500,538	(1,328)	10.1	23.2	26.7	40.0	33.3%
	【長期優良住宅認定】 耐震、省エネなどに優れた住宅と認定されると、住宅ローン減税（最大500万円）や各種税金の控除がある ※2	2017年	1,654,777	(1,239)	13.1	33.9	28.2	24.8	47.0%
		2016年	1,641,798	(1,265)	12.8	26.0	29.3	31.9	38.8%
		2015年	1,437,130	(1,246)	11.2	22.5	29.2	37.1	33.7%
		2014年	1,500,538	(1,328)	9.7	20.9	27.5	41.9	30.6%
	【住宅ローン控除×耐震改修】 耐震基準を満たさない中古でも、取得後耐震改修すれば適用可	2017年	1,654,777	(1,239)	12.8	31.8	29.2	26.2	44.6%
		2016年	1,641,798	(1,265)	9.9	27.4	25.3	37.4	37.3%
		2015年	1,437,130	(1,246)	8.8	22.1	24.9	44.2	30.9%
		2014年	1,500,538	(1,328)	9.4	20.0	23.3	47.3	29.4%
	【空き家×固定資産税】 家をとり壊すと固定資産税や都市計画税が上がる場合がある ※3	2017年	1,654,777	(1,239)	13.8	29.7	27.2	29.3	43.5%
		2016年	1,641,798	(1,265)	13.6	25.6	22.6	38.2	39.2%
		2015年	1,437,130	(1,246)	11.4	19.1	24.3	45.2	30.5%
		2014年	1,500,538	(1,328)	9.9	17.7	24.5	47.9	27.6%

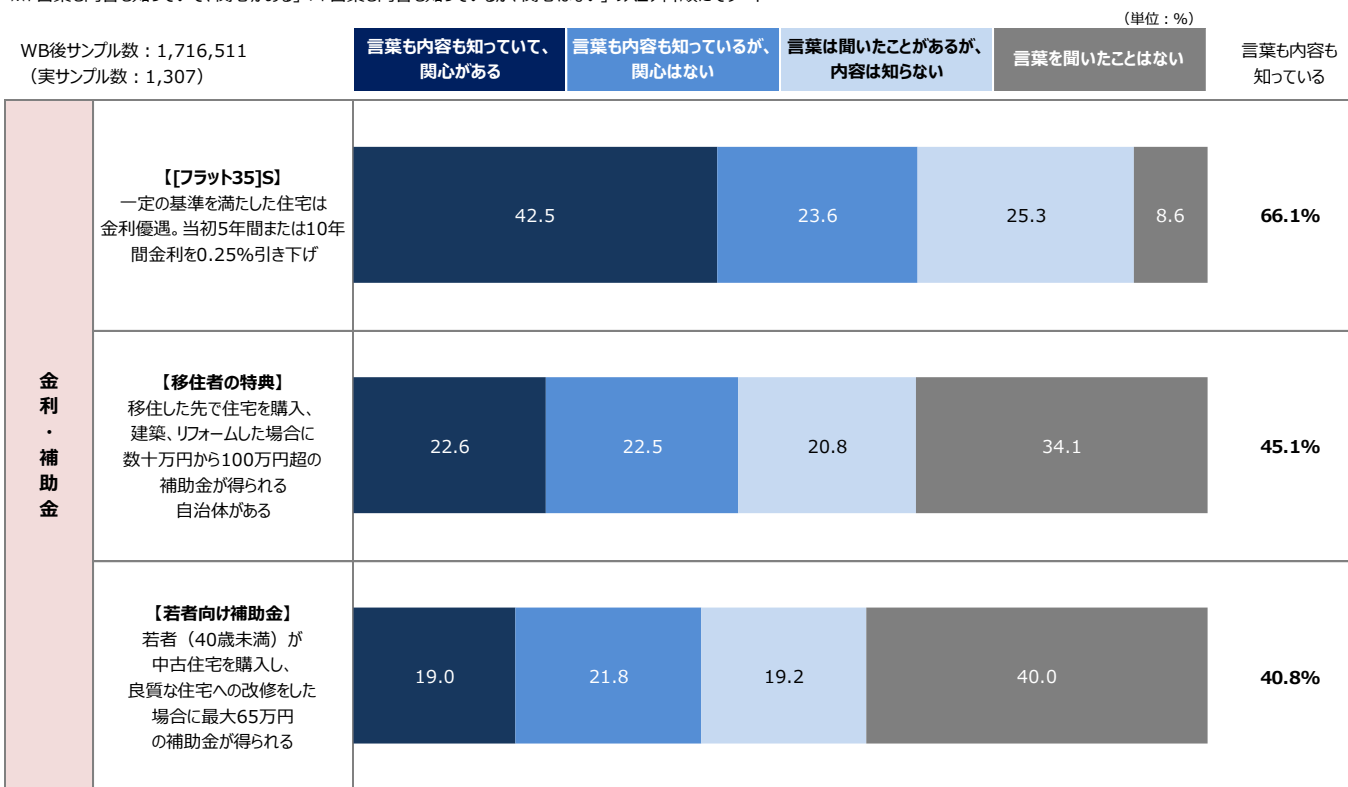
※調査年度による設問文の変更内容

注釈	項目	2017年	2016年	2015年	2014年
※1	【住宅ローン控除の概要】	住宅ローンを利用して住宅を購入した場合に、住宅ローン残高の1%（10年間で最大400万円）を所得税から控除	住宅ローンを利用して住宅を購入した場合に、住宅ローン残高の1%（10年間で最大400万円）を所得税から控除（2019年6月30日まで）	住宅ローンを利用して住宅を購入した場合に、住宅ローン残高の1%（10年間で最大400万円）を所得税から控除（2017年12月31日まで）	住宅ローンを利用して住宅を購入した場合に、住宅ローン残高の1%（10年間で最大400万円）を所得税から控除（2017年12月31日まで）
※2	【長期優良住宅認定】	耐震、省エネなどに優れた住宅と認定されると、住宅ローン減税（最大500万円）や各種税金の控除がある	耐震、省エネなどに優れた住宅と認定されると、住宅ローン減税（最大500万円）や各種税金の控除がある（2019年6月30日まで）	耐震、省エネなどに優れた住宅と認定されると、住宅ローン減税（最大500万円）や各種税金の控除がある（2017年12月31日まで）	耐震、省エネなどに優れた住宅と認定されると、住宅ローン減税（最大500万円）や各種税金の控除がある（2017年12月31日まで）
※3	【空き家×固定資産税】	家をとり壊すと固定資産税や都市計画税が上がる場合がある	家をとり壊すと固定資産税や都市計画税が上がる		

- フラット35Sの内容認知率は66.1%
- 40歳未満の若者が中古住宅購入し住宅改修した場合の補助金の認知率は40.8%

■住宅購入に関する金利・補助金についての認知・関心状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

※「言葉も内容も知っていて、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」のスコア降順にてソート



※「言葉も内容も知っている」は「言葉も内容も知っていて、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」の計

<参考> 住宅購入に関する金利・補助金についての認知・理解状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

※経年での比較が可能な2016年～2017年データを掲載

※前頁の2018年スコアの降順ソートで掲載

		WB後 サンプル数	実サンプル数	(単位：%)				よく理解している + まあ理解している	
				よく理解している	まあ理解している	聞いたことはある	知らない		
金利・補助金	【フラット35S】 一定の基準を満たした住宅は金利優遇。 当初5年間または10年間金利を0.3%引き下げ（2017年10月1日から0.25%引き下げ） ※2	2017年	1,654,777	(1,239)	19.1	40.0	30.9	9.9	59.1%
		2016年	1,641,798	(1,265)	17.6	41.9	31.0	9.5	59.5%
	【移住者の特典】 移住した先で住宅を購入、建築、リフォームした場合に数十万円から100万円超の補助金が得られる自治体がある	2017年	1,654,777	(1,239)	10.0	27.6	29.3	33.1	37.6%
		2016年	-	-	※1				-
	【若者向け補助金】 若者（40歳未満）が中古住宅を購入し、良質な住宅への改修をした場合に最大65万円の補助金が得られる	2017年	1,654,777	(1,239)	9.4	24.7	25.3	40.7	34.1%
		2016年	-	-	※1				-

※1・・・2016年は設問なしのため、比較なし

※2・・・調査年度による設問文の変更内容

注釈	項目	2017年	2016年
※2	【フラット35S】	一定の基準を満たした住宅は金利優遇。当初5年間または10年間金利を0.3%引き下げ（2017年10月1日から0.25%引き下げ）	一定の基準を満たした住宅は金利優遇。当初5年間または10年間金利を0.3%引き下げ

13.物件の構造・仕様、取引に関する理解状況

■物件の構造・仕様や取引に関する用語の認知・関心状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

※カテゴリごとに「言葉も内容も知っていて、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」のスコア降順にてソート

WB後サンプル数：1,716,511
(実サンプル数：1,307)

(単位：%)

年	カテゴリ	名称	認知・関心状況				言葉も内容も知っている
			言葉も内容も知っていて、関心がある	言葉も内容も知っているが、関心はない	言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	言葉は聞いたことはない	
2018年	住宅の設備/仕様	スマートハウス	36.6	18.9	31.0	13.5	55.5%
		ZEH	24.6	13.9	19.6	41.9	38.5%
		BELS	16.3	13.8	18.6	51.3	30.1%
	住宅の品質	長期優良住宅	34.9	18.5	25.9	20.7	53.4%
		住宅性能評価書	28.1	16.1	22.1	33.7	44.2%
		安心R住宅	18.5	14.3	20.3	46.8	32.9%
	住宅構造の評価/保険	住宅瑕疵(かし)担保責任保険	27.8	17.3	20.7	34.2	45.1%
		インスペクション(建物状況調査)	20.2	14.5	19.4	45.9	34.7%
	その他、不動産取引	リバースモーゲージ	22.8	19.1	16.4	41.7	41.8%

※「言葉も内容も知っている」は「言葉も内容も知っていて、関心がある」+「言葉も内容も知っているが、関心はない」の計

<参考> 物件の構造・仕様や取引に関する用語の認知・理解状況（全体／マトリクス形式による単一回答）

WB後サンプル数：1,654,777
(実サンプル数：1,239)

(単位：%)

年	カテゴリ	名称	認知・理解状況				よく理解している + まあ理解している
			よく理解している	まあ理解している	聞いたことはある	知らない	
2017年	住宅の設備/仕様	スマートハウス	16.1	32.7	37.4	13.8	48.8%
		ZEH	10.9	28.9	21.8	38.5	39.8%
		BELS	9.0	22.3	21.6	47.1	31.3%
	住宅の品質	長期優良住宅	15.3	32.3	33.3	19.1	47.6%
		住宅性能評価書	12.8	31.0	27.0	29.1	43.9%
		安心R住宅	9.3	20.6	26.9	43.2	29.9%
	住宅構造の評価/保険	住宅瑕疵(かし)担保責任保険	13.6	29.5	25.6	31.3	43.1%
		インスペクション(建物状況調査)	9.3	22.2	25.0	43.5	31.6%
	その他、不動産取引	リバースモーゲージ	10.5	24.1	25.2	40.2	34.6%

カテゴリ	名称	回答者に提示した内容の説明文
住宅の設備/仕様	スマートハウス	IT（情報技術）を使った賢い住宅のこと。太陽光発電システムや蓄電池などのエネルギー機器、家電、住宅機器などをコントロールし、エネルギーマネジメントを行うことで、家庭内におけるエネルギー消費を最適化する住宅。
	ZEH	Net Zero Energy Houseの略。住まいの断熱性や省エネ性能を上げたり、太陽光発電などでエネルギーをつくることによって、1年間の消費エネルギーより住宅でつくったエネルギーのほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。
	BELS	Building-Housing Energy-efficiency Labeling Systemの略。建物の省エネ性能について第三者機関に評価してもらい、5段階の星マークなどで表示するという新しい省エネ性能表示制度。取得した住宅は、広告などにマークを表示できる。
住宅の品質	長期優良住宅	長く快適に住み続けられるための一定条件をクリアした住宅。構造躯体の劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性の性能基準を満たす必要がある。住宅ローン控除額が引き上げられたり、金利優遇が受けられるメリットがある。
	住宅性能評価書	住宅品質確保法に基づき、国に登録された第三者機関によって住宅の性能を評価した書面。耐震等級3などの数字で性能が可視化される。またこの書面があれば、住宅ローン控除や地震保険料の優遇を受けられる可能性や、トラブルが起きても紛争処理機関を利用できるメリットがある。
	安心R住宅	国土交通省が中古住宅の流通の活性化目的に、消費者が安心して購入できる高い品質の中古住宅に設けたブランド名。国土交通省に登録された各事業者団体が定めた基準を満たす物件に、使用が認められる。
住宅構造の評価/保険	住宅瑕疵(かし)担保責任保険	新築やリフォームする時に、法令上の性能を満たさない状態で引き渡され、その結果として雨漏りなどの構造部に問題が発生することを「瑕疵(かし)」という。瑕疵が見つかった際には保険会社から必要なお金を受け取れる。新築では10年が義務付けられているが、既存住宅では加入は任意である。
	インスペクション(建物状況調査)	建築士、住宅診断士など設計・施工に詳しい専門家が、住宅の劣化レベル、工事不備などを診断し、その改修規模や概算コストの目安を算定し、客観的な立場でアドバイスをする。2018年より売買取引時において不動産会社はこの建物検査の有無を通知する義務が生じる。
その他、不動産取引	リバースモーゲージ	高齢者等が持ち家を担保に、そこに住み続けながら自治体や金融機関から生活資金の融資を受け、死亡した場合には担保となっていた不動産を売却して借入金を一括返済するシステムのこと。預貯金が少なくても、持ち家を活用することで老後資金を調達でき、年金を補完できると注目されている。